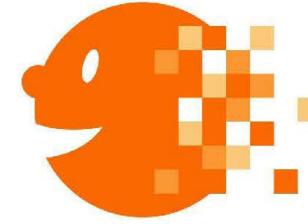


つくろう! 守ろう! 安心できる情報社会



**DIGITAL
POSITIVE
ACTION**

5つの分野の
ICT
リテラシーを
学ぼう



講師用ガイドライン

シニア
向け講座

はじめに、講師の皆さまへ

インターネットなどのデジタル技術は、私たちの暮らしを便利にし、社会とのつながりを広げてくれる可能性があります。しかし、**使い方に戸惑ったり、トラブルにあわないか不安に感じることも少なくありません。**

シニアの方々が、デジタル技術を前向きに、安全に活用して、**自分に合った社会参加の機会**を見つけられるよう、一緒に学び、取り組んでいきましょう。

教材は、以下の**ゴールを達成できるように**設計されています。



- 1 安全にデジタル技術や情報を活用し、課題を解決できる
- 2 周りのことを考え、責任ある行動がとれる
- 3 新しいデジタル技術や課題にも柔軟に対応できる

教材のゴールと伝えたいメッセージ

1 安全にデジタル技術や情報を活用し、課題を解決できる

伝えたいメッセージ

- デジタル空間の特徴を理解することで、課題に対する柔軟な対応力を身につけ、責任ある行動がとれるようになってもらう
- デジタル技術が、暮らしを豊かにする可能性を知ること、前向きな気持ちを育み、すぐに取り組める具体的な活用方法を知ってもらう

教材のゴールと伝えたいメッセージ

② 周りのことを考え、責任ある行動がとれる

伝えたいメッセージ

- トラブルに巻き込まれないために、身近なトラブル事例やその対応方法を知り、実際に対処できるようになってもらう
- ニセ・誤情報が社会に与える影響を知り、だまされない/拡散しない方法を知ってもらう

教材のゴールと伝えたいメッセージ

③ 新しいデジタル技術や課題にも柔軟に対応できる

伝えたいメッセージ

- 課題の背景にある、デジタル空間の特徴を理解することで、新しい課題にも、自主的に対応する力を身につけてもらう
- デジタル技術は進化しつづけていることを知り、継続的に学ぶ必要性を理解してもらう

教材の構成



教材の目次

PART 1 デジタル空間の特徴って何？

PART 2 デジタル空間には
どんなトラブルがあるの？

PART 3 自分や周囲の人をトラブルから
守るためには？

PART 4 社会をリスクから守るためには？

PART 5 デジタル技術を活用すると
何ができるの？



各PARTの目的

✓ デジタル空間の特徴を、身近な事例と共に理解することで、柔軟な対応力を身につけ、とるべき行動を知ってもらう

✓ 出会いやすいトラブルを紹介し、フィルタリングの活用や家庭内ルール作りなどを実践してもらう

✓ 情報発信時の注意や、トラブルに対応する具体的な行動を理解してもらう

✓ ニセ・誤情報とは何かを理解し、情報を適切に扱う力を身につけてもらう

✓ デジタル技術を活用した便利なサービスを知り、積極的に活用してもらう

講座の進め方の例

重要度の
説明

★★★★ 特に重要
★★★ 重要
★ 自主学習も可

所要時間目安 重要度

トータル

60分

はじめに

導入説明

5分

★★

PART 1 デジタル空間の特徴って何？

講義説明

10分

★★★★

PART 2 デジタル空間には
どんなトラブルがあるの？

講義説明

10分

★★

PART 3 自分や周囲の人をトラブルから
守るためには？

講義説明

10分

★★

PART 4 社会をリスクから守るためには？

講義説明

10分

★★

PART 5 デジタル技術を活用すると
何ができるの？

講義説明

5分

★

振り返り・質疑応答

グループワーク

10分

★

※講座時間に合わせて、各パートを説明しましょう

講座実施時のポイント



デジタル空間の特徴

特徴を理解することで、
新たな課題にも対処できる
能力を身につける



身近なテーマ

なりすまし詐欺
など、シニアの皆さま
にとって身近なテーマや
最新事例を学べる



対話型の講義

受講者との意見共有や、
質問、振り返りを通じて
一緒に考える

ICTリテラシーチェックテスト
も活用しましょう

講師用説明例文

講師の説明例文(教材 P1)

投影スライド

身につけようICTリテラシー

つくろう! 守ろう! 安心できる情報社会



**DIGITAL
POSITIVE
ACTION**

生活を楽しく便利にしてくれるネットの中に、
偽情報や誹謗中傷がまぎれ込んだり、
個人情報がかうばれることも...

日常と隣り合わせになったデジタル空間を、
誰もが安心できる場所にするために、
可能性をもっとゆたかに広げるために、
ICTリテラシーを身につけよう

本教材で目指すゴール

- 安全にデジタル技術や
情報を活用し、
課題を解決できる
- 周りのことを考え、
責任ある行動がとれる
- 新しいデジタル技術や
課題にも柔軟に
対応できる

説明例文

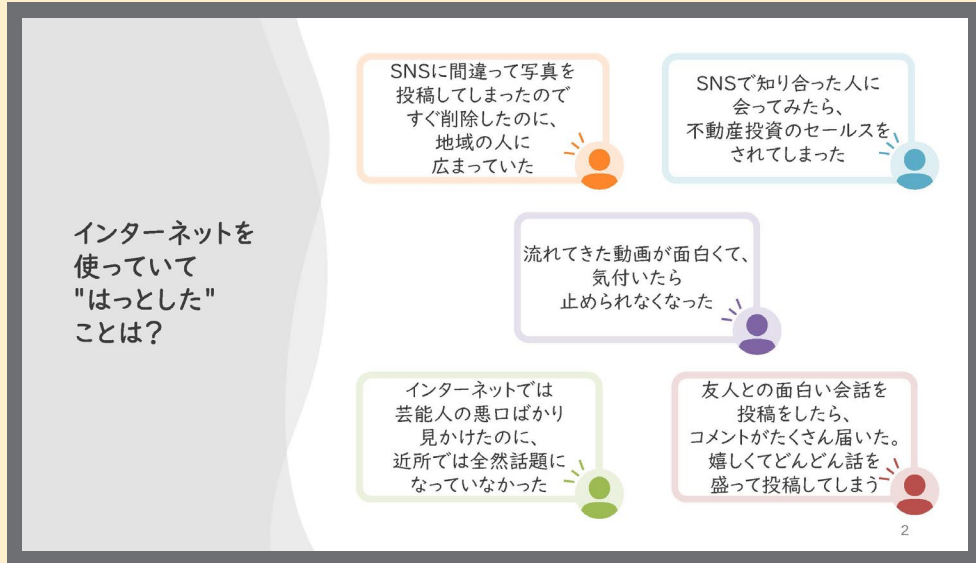
最近では、スマホやパソコンを使うことが当たり前になり、多くの情報が簡単に手に入るようになりました。しかし、その一方で、ニセ・誤情報や誹謗中傷などのトラブルに遭遇することもあります。一人ひとりがICTリテラシーを身につけることで、安心できる情報社会をつくり、守っていきましょう。

本教材では、
安全にデジタル技術や情報を活用し、課題を解決できるようになること、
周りのことを考え、責任ある行動がとれるようになること、
新しいデジタル技術や課題にも柔軟に対応できるようになること、
を目指しています。

クリック

講師の説明例文(教材 P2)

投影スライド



説明例文

まずはじめに、身の回りで起きた出来事について少し考えてみてください。みなさんは、インターネットを使っていて、はっとしたことはないでしょうか？

例えば、「SNSに誤って投稿した写真が、すぐに消したはずなのに、地域の人に広まってしまった」、「流れてきた動画が面白くて、やめられなくなった」、などといったことはなかったでしょうか？

こうしたはっとした体験は、デジタル空間のどんな特徴からくるものなのでしょうか？

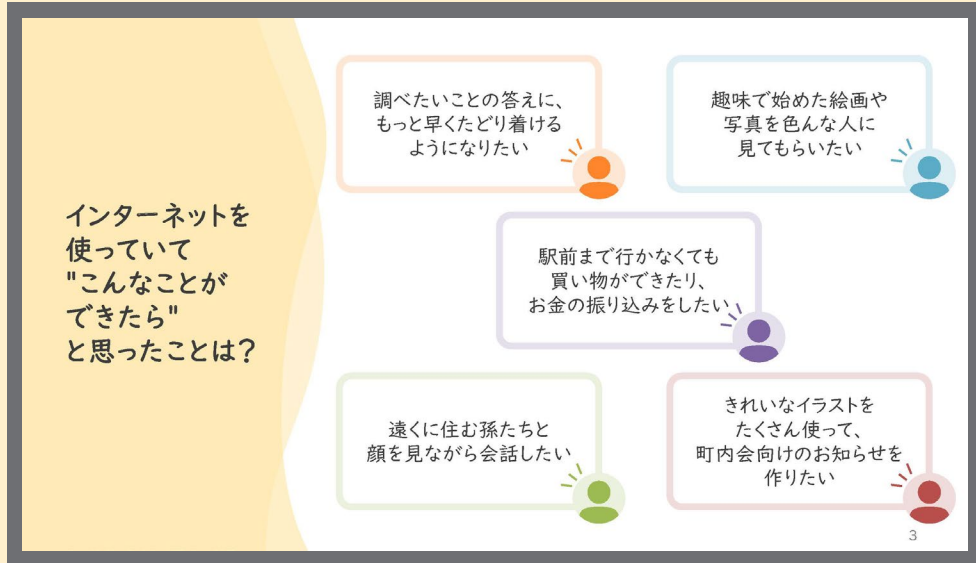
クリック

✓ 講義で意識したいポイント

- ・ 講義の冒頭に身近な体験について問いかけることで、自分ごととして捉えやすくし、興味を持って学習に取り組めるようにしましょう。
- ・ 「他にもどんな体験がありますか？」などと問いかけ、ウォーミングアップとしても利用ください。

講師の説明例文(教材 P3)

投影スライド



説明例文

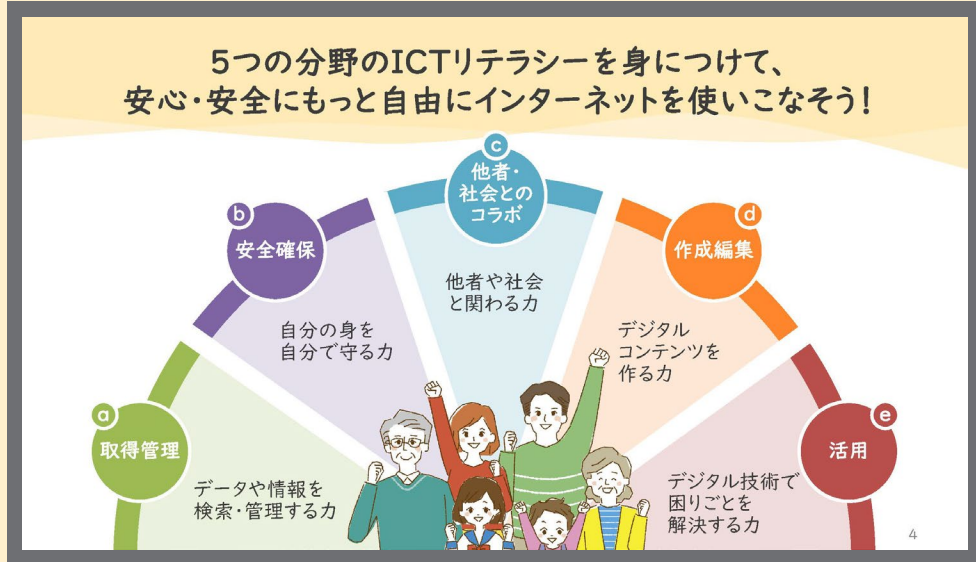
一方で、インターネットは、私たちの学びや生活をより便利に、そして楽しくしてくれる可能性がたくさんあります。みなさんもインターネットを使っていて、こんなことができたらいいな、と思ったことはないでしょうか？「調べたいことの答えに、もっと早くたどり着けるようになりたい」、「遠くに住む孫たちと、顔を見ながら会話したい」という思いもあるかもしれません。

ICTリテラシーを身につけ、安心・安全に、インターネットを便利に活用するにはどうしたらいいのか、一緒に考えていきましょう。

クリック

講師の説明例文(教材 P4)

投影スライド



説明例文

ICTリテラシーは大きく5つの分野で構成されます。

1つめは「取得管理」する能力です。適切な情報の検索・保管方法を学びましょう。

2つめは「安全確保」の能力です。デジタル空間に潜むトラブルから自分や周囲の人を守る力を身につけましょう。

3つめは「他者・社会とのコラボ」の能力です。デジタル技術でコミュニケーションの幅が広がることを理解しましょう。

4つめは「作成編集」の能力です。デジタル技術を活用すると、文章や画像、動画などさまざまなコンテンツを作成できます。新しくできるようになったことを理解してみましょう。

最後の5つめは、「活用」の能力です。身の回りのさまざまな悩みや社会課題をデジタルを使って解決する力を身につけましょう。

クリック

✓ 講義で意識したいポイント

どれか1つが身につけばいいのではなく、5つの領域をバランスよく身につけることが大切であることを強調しましょう。

講師の説明例文(教材 P5)

投影スライド

本教材で学べること

PART 1 まず知っておくべきデジタル空間の特徴を学ぼう

PART 2 自分の身を
トラブルから守ろう

PART 3 周りの人をトラブル
から守れるように
なろう

PART 4 社会に与える
リスクを知って
おこう

PART 5 デジタル技術をもっと便利に活用しよう

デジタル空間での責任ある行動を心がけ、
インターネットをより便利に使いこなそう

5

説明例文

本教材では、5つの分野のICTリテラシーを幅広く身につけられるよう、5つのパートに分けて学んでいきます。

各パートにおいて、

パート1では、デジタル空間の特徴を知ること

パート2では、自分の身をトラブルから守れるようになること

パート3では、周りの人をトラブルから守れるようになること

パート4では、社会に与えるリスクを知ること

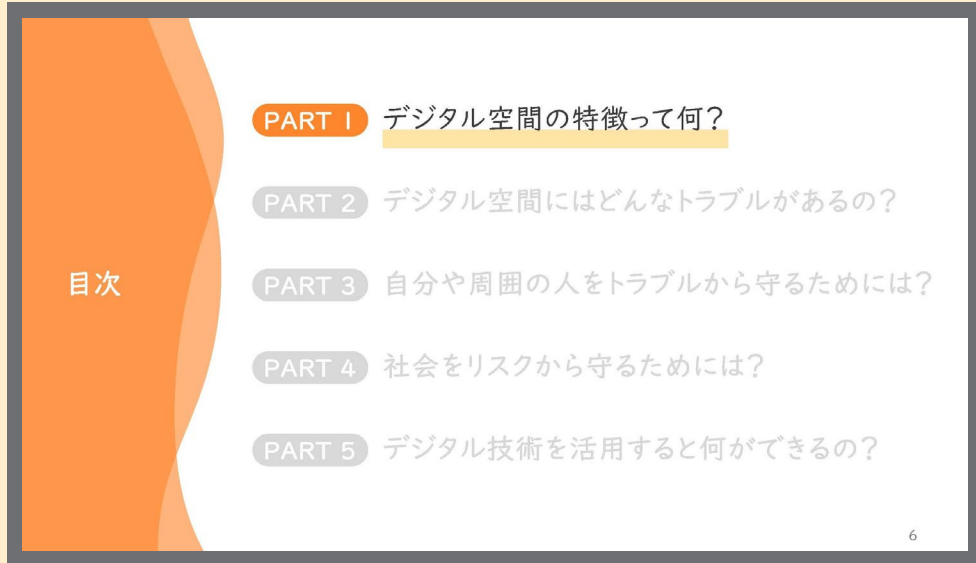
パート5では、デジタル技術をもっと便利に活用できるようになることを学びのゴールとしています。

これらのゴールを達成して、デジタル空間での責任ある行動を知り、インターネットをより便利に使いこなしましょう。

クリック

講師の説明例文(教材 P6)

投影スライド



説明例文

それでは、パート1に入りましょう。
本パートでは、デジタル空間の特徴を学んでいきます。

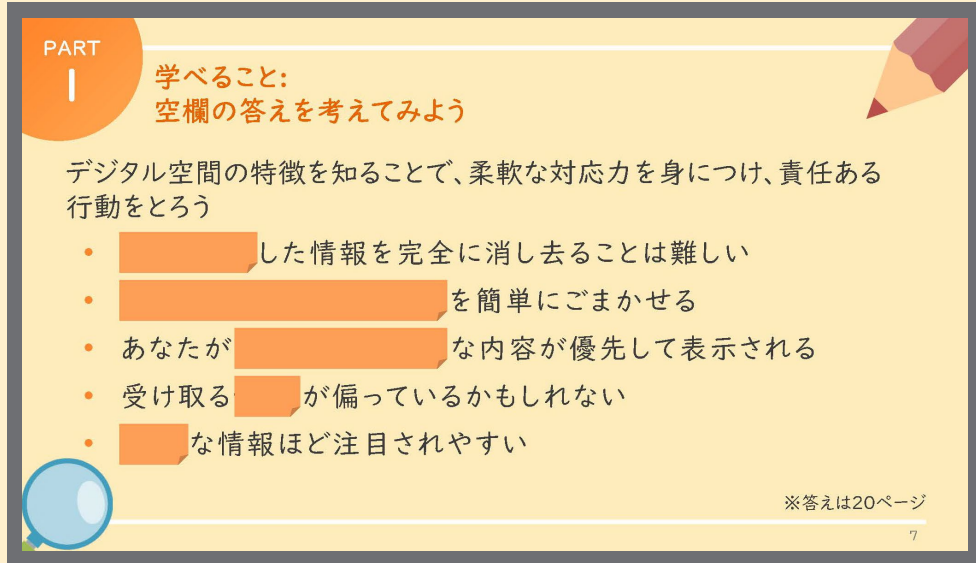
クリック

✓ 講義で意識したいポイント

- PART1では、デジタル空間の特徴を学ぶことで新しい課題に出会っても柔軟に対応できる力を身につけてもらうことを目指しています。
- 教材内で紹介しているトラブルやリスク事例が、デジタル空間のどんな特徴から起こるものなのか、紐づけて説明することを意識しましょう。

講師の説明例文(教材 P7)

投影スライド



PART
1

学べること:
空欄の答えを考えてみよう

デジタル空間の特徴を知ること、柔軟な対応力を身につけ、責任ある行動をとろう

- [] した情報を完全に消し去ることは難しい
- [] を簡単にごまかせる
- あなたが [] な内容が優先して表示される
- 受け取る [] が偏っているかもしれない
- [] な情報ほど注目されやすい

※答えは20ページ

7

説明例文

みなさんは、デジタル空間にどのような特徴があるか知っていますか？
空欄の答えを考えてみましょう。正解は各章の最後に掲載されています。

クリック

✓ 講義で意識したいポイント

クイズに正解することが目的ではなく、何が入るのだろう？と考えてもらいながら学習することで、より興味を持って学習を進めてもらうことが大切です。

講師の説明例文(教材 P8)

投影スライド

デジタル空間には、こんな特徴がある

01 情報の保存性
一度投稿した情報は残ります

02 情報の匿名性
年齢・性別などを出さなくてもよい

03 パーソナライズ
興味を持ちそうな内容が表示される

04 エコーチェンバー／フィルターバブル
受け取る情報が偏っているかも

05 アテンション・エコノミー
極端な情報ほど注目される

デジタル空間の特徴を知ること、
新しいトラブルにも、どう対応すればいいか自分で考えられる、
新しい技術も便利に使いこなせる

説明例文

デジタル空間には、5つの特徴があります。

1つ目は「情報の保存性」です。一度投稿した情報は、完全に消し去ることが難しく、残り続けるという特徴です。

2つ目は「情報の匿名性」です。インターネット上では、年齢や性別などの個人情報を出さずに、自由に情報を発信することが可能です。

3つ目は「パーソナライズ」です。あなたの過去の検索、閲覧の履歴などから、あなたが興味を持ちそうな内容を優先して表示させる仕組みがあります。

4つ目は「エコーチェンバー・フィルターバブル」です。

インターネット上では、同じような情報が繰り返し表示される特徴があり、それによって自分の考えが偏ってしまうことがあります。

最後に「アテンション・エコノミー」です。インターネット上では、興味や関心、注目（これをアテンション、といいます）をひくような情報によって、クリックを促し、より多くの広告をみたり、サービスを使ってもらおうとするネット上のしくみがあります。

これらの特徴を知ること、新しいデジタル技術が登場しても、リスクやトラブルに対して自主的に対応できるようになり、便利に使いこなせる力を育むことができます。それでは、これらの特徴の具体的な例を見ていきましょう。

クリック

✓ 講義で意識したいポイント

デジタル空間の特徴をまとめた重要なスライドです。パーソナライズやエコーチェンバー/フィルターバブルなど、聞きなれない言葉についても、次頁以降の事例で詳しく解説することを伝えましょう。

講師の説明例文(教材 P9)

投影スライド



説明例文

まずは情報の保存性についての具体例です。

Aさんは友人から届いた絵葉書の写真をSNSに投稿しましたが、友人の電話番号が載っていたことに気づき、慌てて投稿を消しました。投稿後急いで投稿を消したはずなのに、友人の電話番号に迷惑電話がかかってくるようになってしまいました。

投稿をすぐ消したはずなのに、どうして迷惑電話がかかってくるようになってしまったのでしょうか？

クリック

講師の説明例文(教材 P10)

投影スライド

01 情報の保存性

一度投稿した情報を削除することは難しい

投稿自体は削除できても、
スクリーンショットが拡散
されてしまうことも

「顔や名前を出しても言える
内容かな？」と考えてから投稿しよう！

電話番号、住所、家族の名前などの
個人情報には投稿しない！



10

説明例文

インターネットでは、投稿を消していても、一度流通した情報を完全に消すことはなかなか難しいのです。

Aさんの投稿はもしかしたら、誰かにスクリーンショットを撮られて、電話番号の情報が漏れてしまったかもしれません。

投稿する際は、「この情報は顔や名前を出しても言える内容かな？」と考えてから投稿するように気を付けてください。また、住所や電話番号など個人を特定できる情報は投稿しないようにすることが重要です。

クリック

講師の説明例文(教材 P11)

投影スライド

02 情報の匿名性

これは何が問題だろう？

有名〇〇会社の社長秘書です。
特別な投資をしませんか？



有名な〇〇会社の社長の秘書Cさん
から連絡がきた。
「100万円振り込んだら3倍にして
あげる」と言われた

お金を預けてみようかな...



「テレビに出てる有名な人
だから安心」と考え、
お金を振り込んだ

参考: 警察庁「SOS47 特殊詐欺対策ページ SNS型投資詐欺」
<https://www.npa.go.jp/bureau/safety/life/sos47/case/sns-romance/investment/>

11

説明例文

次は情報の匿名性の例です。

ある日、Bさんに有名な会社の社長秘書を名乗る人から特別な投資を勧めるメッセージが届きました。

「100万円を振り込んだら3倍にしてあげる」と言われ、テレビに出ている有名な人からの連絡なら安心かも、と考えお金を振り込んでしまいました。

これはなにが問題でしょうか？

クリック

講師の説明例文(教材 P12)

投影スライド

02|情報の匿名性

インターネット上では簡単に名前・年齢・性別・職業をごまかせる

お金を振り込んだら音信不通になり、
100万円をだまし取られた
信頼できると思った人は、
ニセモノかもしれない

「この人は実はウソをついているかも？」
と疑い、自分を守ろう！



参考: 警察庁「警察庁・SOS47特殊詐欺対策ページ SNS型投資詐欺」<https://www.npa.go.jp/bureau/safetylife/sos47/case/sns-romance/investment/>

12

説明例文

お金を振り込んだ途端、音信不通になってしまい、
Bさんはお金をだまし取られてしまいました。

インターネット上では簡単に名前・年齢・性別・職業をごまかすことができます。メッセージでやり取りをする中で、信頼できる人だと思っても、ニセモノかもしれません。「この人は実はウソをついているかも？」と疑い、自分を守りましょう！

クリック

講師の説明例文(教材 P13)

投影スライド

03|パーソナライズ

なぜ似たような広告や
投稿ばかりが表示されるの？

いつまでも元気でいたいから
健康について調べてみよう



SNSでも、検索サイトでも、
健康情報ばかり
流れてくるように...



13

説明例文

次はパーソナライズの例を見てみましょう。

Cさんは健康について気になり、インターネットを使って健康に関する情報を検索していました。

すると、それ以降、検索サイトやSNSでは、健康情報や広告ばかりが表示されるようになりました。

なぜ健康に関する情報ばかりが表示されるようになったのでしょうか？

クリック

講師の説明例文(教材 P14)

投影スライド

03|パーソナライズ

あなたが興味を持ちそうな内容が表示されている！

おすすめや広告はあなたの年齢、性別、
閲覧履歴などにもとづいて表示される
(これをパーソナライズという)



興味のある情報が次々と表示され、スマホを見続けてしまうことも…

本当に必要な情報は何か、考えてみよう

14

説明例文

インターネットの世界では、みなさんの年齢や、過去の検索・閲覧履歴にもとづいて、それぞれの人の好みに近い有益そうな情報が優先的に表示される仕組みがあります。これをパーソナライズといいます。

興味のある情報が次々表示されることで、ついスマホを見続けてしまうこともあるかと思います。
本当に必要な情報は何か、立ち止まって考えてみましょう。

クリック

講師の説明例文(教材 P15)

投影スライド

04 | エコーチェンバー／フィルターバブル

この行動は
何が問題？

有名人のAさんが
言っていることは
みんな正しいと
言っている!

Aさんは正直

Aさんは正しい

Aさんに賛成

Aさんは正しい

私と同じ意見
ばかり!
やっぱりAさんは
正しいんだ!

15

説明例文

次はエコーチェンバー／フィルターバブルの例です。

Dさんは「有名人のAさんの言っていることは正しい」と思っています。実際に、SNSを見ると、「Aさんの意見に賛成」という投稿がたくさん表示されているように見えます。そのため、Dさんは「みんなは私と同じ意見を持っている。だからAさんはやっぱり正しいんだ」、と思い込むようになりました。

これは、なにが問題なのでしょうか？

クリック

講師の説明例文(教材 P16)

投影スライド

04 | エコーチェンバー／フィルターバブル

受け取る情報が偏っているかもしれない！

エコーチェンバーとは？

SNSで自分と似た意見を持つ人をフォローすると、似た意見ばかりが表示されるように

フィルターバブルとは？

自分が好む情報ばかり表示されて、反対意見や多様な考えに触れにくくなる

自分でも気がつかないうちに、**差別や偏見につながる可能性も！**
さまざまな情報をバランス良く取り入れよう！

16

説明例文

実は、私たちが受け取る情報は偏っているかもしれません。

インターネット上では、SNSなどに自分の意見を発信すると似た意見ばかりが表示されるようになる「エコーチェンバー」や、インターネットの検索履歴などをもとに自分の好みや興味・関心に近い事柄ばかりが表示され、まるで「泡」の中にいるように、限られた情報しか見えなくなってしまう「フィルターバブル」といった現象が存在します。

いろいろな考え方に触れる機会が少なくなると、自分では気がつかないうちに考えが偏りやすくなり、差別や偏見につながる可能性もあります。意識的にさまざまな情報をバランスよく取り入れることが大切です。

クリック

講師の説明例文(教材 P17)

投影スライド

コラム

情報の「偏食」で何が起こる? 「情報的健康」について考えてみよう!

「情報的健康」とは、さまざまな情報をバランスよく摂取し、自らが摂取する情報の真正性や安全性等について意識してニセ情報等への免疫を獲得することで、各人が望む幸福を追求できている状態

情報も食べ物も、
バランスよく摂取する方が健康な
状態を保てる

食事と同じように、**意識的にさまざまな情報を摂取**しよう



参考: 総務省 デジタル空間における情報流通の健全性確保の在り方に関する検討会(第6回)(令和6年1月19日) 配布資料
「資料6-2-2」 https://www.soumu.go.jp/main_content/000923723.pdf、 「資料6-2-3」 https://www.soumu.go.jp/main_content/000923724.pdf

17

説明例文

次に、「情報的健康」に関するコラムを紹介します。

「情報的健康」とは、さまざまな情報をバランスよく取り入れ、情報の確からしさや安全性などを意識して、ニセ情報等への免疫を獲得することで、それぞれの人が望む幸福を追求できている状態を指します。

日々の食事においても、偏った食事を続けると体調を崩してしまいます。食事と同じように、情報もバランスよく取り入れることを意識して、「情報的健康」の状態を目指しましょう。

クリック

講師の説明例文(教材 P18)

投影スライド

05|アテンション・エコノミー

こういった投稿・広告にはどんな問題があるだろう？



「毎日飲むだけで15歳若返る！」
と書かれたサプリの広告



「あの芸能人の衝撃の現在」
と過激なタイトルが付けられた
ニュース

18

説明例文

次の例を見てみましょう。

SNSで見かける投稿や広告に潜むアテンション・エコノミーの例です。

1つめは「飲むだけで15歳若返る！」と書かれたサプリの広告です。
2つめは、「あの芸能人の衝撃の現在」と過激なタイトルが付けられた
ニュース記事です。

これらの広告やニュースは何が問題でしょうか？

クリック

講師の説明例文(教材 P19)

投影スライド

05|アテンション・エコノミー

インターネットでは極端な情報が拡散され、目につきやすい!

注目を集めるため、
過激なタイトルで拡散を狙う広告・投稿が多い!
(これをアテンション・エコノミーという)

情報をうのみにせず、投稿するときも
投稿してもよい内容かどうか、
立ち止まって考えることも大切!



事実よりも、注意を引くことを最優先してしまう…
拡散されているからといって、信頼できる情報とは限らない!

19

説明例文

アテンション・エコノミーは、興味や関心、注目（＝アテンション）をひくような情報によって、クリックを促したり、より多くの広告をみたり、サービスを使ってもらおうとするネット上のしくみのことです。

インターネットやSNS上では、注目を集めるために、過激なタイトルで拡散を狙う広告・投稿が多く存在しています。
極端な情報や偏った情報ほど拡散されやすいことを念頭に、このような投稿をうのみにせず、情報の信頼性をしっかり確認することが重要です。

また投稿する際も、注目を集めることだけを優先するのではなく、適切な情報を発信しているのか冷静になって考えるようにしましょう。

クリック

講師の説明例文(教材 P20)

投影スライド

PART
I

学んだこと

下線は空欄の答え

デジタル空間の特徴を知ること、柔軟な対応力を身につけ、責任ある行動をとろう

- 一度投稿した情報を完全に消し去ることは難しい
- 名前・年齢・性別・職業を簡単にごまかせる
- あなたが興味を持ちそうな内容が優先して表示される
- 受け取る情報が偏っているかもしれない
- 極端な情報ほど注目されやすい

20

説明例文

PART1で学んだことを振り返り、空欄の正解を見てみましょう。

- ・ 1つ目、一度投稿した情報を完全に消し去ることは難しい
- ・ 2つ目、名前・年齢・性別・職業を簡単にごまかせる
- ・ 3つ目、あなたが興味を持ちそうな内容が優先して表示される
- ・ 4つ目、受け取る情報が偏っているかもしれない
- ・ 5つ目、極端な情報ほど注目されやすい

クリック

講師の説明例文(教材 P21)

投影スライド

PART Iで身につくリテラシー

取得管理

a-1 インターネット検索の仕組みを知って、必要な情報を探すための方法を理解する

a-2 インターネットでは自分が好きな情報や同じ意見に触れやすいことを理解し、本当に信頼できる情報かを確認する

安全確保

b-2 インターネットにある違法・有害情報やニセ・誤情報に気をつけて、どう対処するかを学ぶ

b-4 インターネットやスマホ・PCを使うときに、体や心の健康を保つ方法を知る

他者・社会とのコラボ

c-5 インターネットで交流するとき、いろんな背景を持った人々がいることに気をつけ配慮する

c-6 自分や他の人の個人情報を理解し、大切に管理する

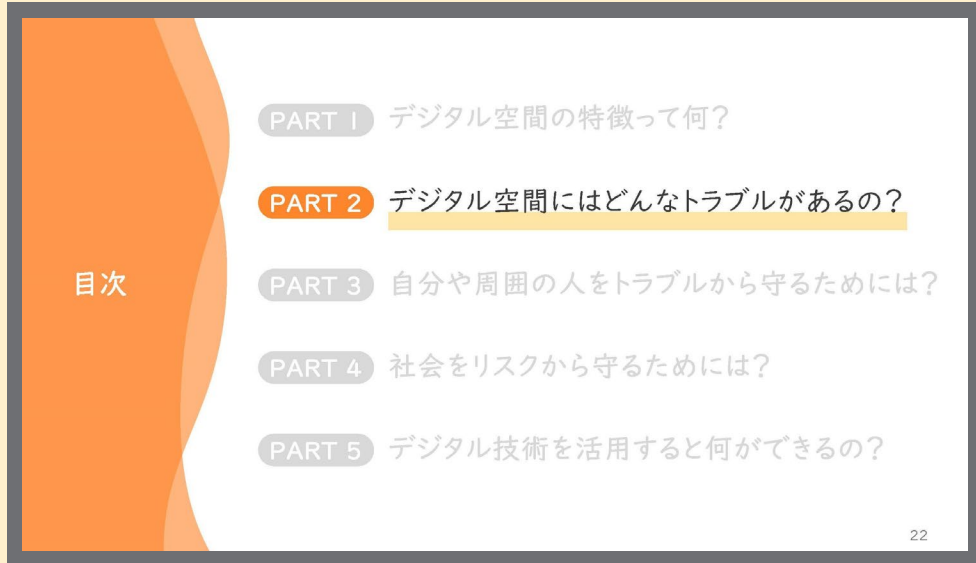
21

説明例文

クリック

講師の説明例文(教材 P22)

投影スライド



説明例文

パート2ではデジタル空間にどのようなトラブルがあるか学んでいきましょう。

クリック

✓ 講義で意識したいポイント

- PART2では、デジタル空間において出会いやすいトラブルについて最新の事例を交えて紹介しています。
- なりすまし詐欺などの犯罪被害だけでなく、スマホやインターネットの長時間利用による影響など、心と体の安全を守ることも意識して伝えましょう。

講師の説明例文(教材 P23)

投影スライド

PART
2

学べること:
空欄の答えを考えてみよう

デジタル空間で**出会う**かもしれない**トラブル**を知ろう

- と、健康や生活に悪影響がある
- 気軽な がコミュニケーショントラブルに発展しうる
- との気軽な交流が犯罪被害につながる
- 簡単に と犯罪に巻き込まれる

※答えは31ページ

23

説明例文

まずは、デジタル空間で出会うかもしれないトラブルについて、空欄の答えを考えてみましょう。

クリック

講師の説明例文(教材 P24)

投影スライド

スマホやインターネットを長時間利用すると・・・

健康・生活に悪影響が出る



- 昼夜逆転する
- 寝不足になる
- 視力が悪くなる



- SNSを見ないと不安になる
- 集中力が低下する
- 他人と比べて落ち込む

24

説明例文

インターネットを長時間利用すると、健康や生活にさまざまな悪影響が出てしまいます。

気になる投稿や動画が次々おすすめされ見続けてしまうなど、昼夜逆転の生活リズムの乱れを引き起こします。

その結果、寝不足になったり、視力が悪くなってしまうことがあります。体への影響だけでなく、SNSを見ていないと不安で、家族や友人との会話に集中できなくなったり、他人の投稿と自分を比較して落ちこんでしまうなど、心へも影響を引き起こします。

クリック

講師の説明例文(教材 P25)

投影スライド

インターネットで気軽に投稿をすると…

文字だけのコミュニケーションは
思っているよりも難しい!

誤解を与えないために工夫してみよう!

- 送る前に見直す習慣をつける
- 絵文字、スタンプなどを使う
- 電話することも考える



25

説明例文

SNSやグループメッセージなどでは思わぬコミュニケーショントラブルを引き起こすことがあります。

例えば、「会いに来ない?」と誘ったつもりが、?マークをつけ忘れてしまい、違う意味に捉えられてしまった、ということが起こるかもしれません。

文字だけのコミュニケーションでは、相手に自分の意図を正確に伝えることは難しいことを意識しましょう。

例えば、

- 投稿する前にもう一度内容を見直す習慣をつける
- 絵文字やスタンプを使う
- 電話や直接話すことも考える

などといった工夫をすることが有効です。

クリック

講師の説明例文(教材 P26)

投影スライド



説明例文

これは、インターネットで知らない人と気軽につながってしまいトラブルになった例です。

自分の家の周りで撮影した写真を気軽に投稿して、映り込んだ文字や景色の特徴を元に住所や本名を特定されるリスクがあります。また、インターネットを通じて仲良くなった人に写真を送ってしまい、写真を拡散されたくないならお金を払えとおどされるトラブルも発生しています。

インターネットで知らない人とつながることのリスクを知り、慎重な行動を心がけましょう。

クリック

講師の説明例文(教材 P27)

投影スライド

インターネットの情報を安易に信じると詐欺などに巻き込まれる可能性も

SNSで知り合った
有名な会社社長の秘書
を名乗る人から連絡がきた

〇〇の社長
秘書です

特別な投資
しませんか？

なりすまし詐欺とは、
メールや電話で信頼させ、
金銭などをだまし取る犯罪
よくある手口は他にも・・・

- ・ 親族、警察官などを装う
- ・ 未払い料金などの架空請求メールを送る

ウソの身分をかたった、
なりすまし詐欺の可能性も！

受信メールは**送り主を確認！**
少しでも不安を感じたら
家族や警察に相談しよう！

参考: 警察庁「警察庁・SOS47特殊詐欺対策ページ SNS型投資詐欺」<https://www.npa.go.jp/bureau/safetylife/sos47/case/sns-romance/investment/>

27

説明例文

SNSで知り合った有名な会社の社長秘書を名乗る人から、特別な投資に誘われました。

PART1のデジタル空間の特徴の1つである、情報の匿名性でも紹介した例ですが、これはウソの身分をかたった、なりすまし詐欺の可能性があります。

なりすまし詐欺とは、メールや電話で信頼させ、金銭をだまし取る犯罪です。親族や警察を装ったり、未払い料金の架空請求メールが送られてくるなど、手口はさまざまです。

メールを受信したら送り主を確認し、少しでも不安を感じたら家族や警察に相談するようにしましょう。

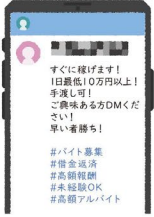
クリック

講師の説明例文(教材 P28)

投影スライド

SNSで募集している怪しいバイトは、誰が募集をしているか分からない

楽に稼げそうなバイトを見つけた！
メッセージを送ってみよう



家族にも警察にも相談できない…

身分証明書の写真でおどされ、逆らえなくなり、罪を犯すことに

参考: 警察庁「いわゆる「闇バイト」の危険性について」
<https://www.npa.go.jp/bureau/safety/life/yamibaito/hanzaiishoboshu.html>

28

説明例文

SNSで募集している怪しいバイトに関するトラブルです。

SNS上で、楽に高額を稼げるバイトを見つけ、投稿者にメッセージを送ってしまいました。

身分証明書の写真を求められたので、写真を撮って送りました。

その結果、身分証明書の写真で脅され、犯罪行為を強要され、罪を犯すことに…

クリック

講師の説明例文(教材 P29)

投影スライド

SNSで募集している怪しいバイトは、誰が募集をしているか分からない

こんなときは闇バイトかも!?

- SNSなどで "簡単に稼げる" と投稿があった
- 応募したら、まず身分証明書の写真を送るように要求された
- 連絡手段として、見たことのないアプリやサイトを指定された

犯罪者にならないために!

- 身分証明書や個人情報は渡さないよう注意しよう!
- 危ない様子を見かけたら、すぐに警察に連絡しよう!



参考: 警察庁「いわゆる「闇バイト」の危険性について」<https://www.npa.go.jp/bureau/safetylife/yamibaito/hanzoishaboshu.html>

29

説明例文

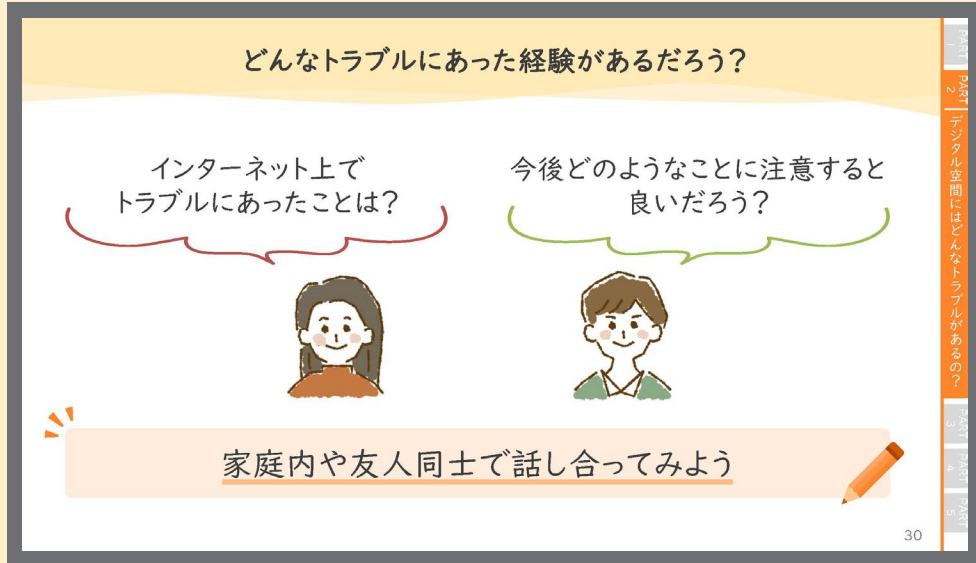
- 簡単に稼げる、高額報酬、などといった投稿、
 - 応募すると、身分証明書の写真を送るように指示されたり、
 - 連絡手段として見たことのないアプリやサイトを指定された、
- といったことがあれば、闇バイトの可能性を疑いましょう。これらは詐欺や犯罪につながる危険な兆候です。

身分証明書や個人情報を絶対に渡さないように注意し、危ないと思ったら、すぐに警察に連絡するようにしましょう。

クリック

講師の説明例文(教材 P30)

投影スライド



説明例文

これまで学んできたインターネットのトラブルに関して、振り返りましょう！
あなたが経験したことはありますか？今後どのようなことに注意すると
良いでしょうか？

家族や友人同士で話し合ってみましょう。

クリック

✓ 講義で意識したいポイント

- 講座で学んだ事例などの具体例を出しながら受講者へ問いかけ、PART3の具体的な対処法の学びにつなげましょう。
- 少人数のグループディスカッションやペアワークなどにするなど、意見交換しやすい形を工夫してみましょう。

講師の説明例文(教材 P31)

投影スライド

PART 2 学んだこと

下線は空欄の答え

デジタル空間で出会うかもしれないトラブルを知ろう

- 使いすぎてしまうと、健康や生活に悪影響がある
- 気軽な投稿がコミュニケーショントラブルに発展しうる
- 知らない人との気軽な交流が犯罪被害につながる
- 簡単に情報を信じると犯罪に巻き込まれる

31

説明例文

PART2で学んだことを振り返り、空欄の正解を見てみましょう。

- ・ 1つ目、使いすぎてしまうと、健康や生活に悪影響がある
- ・ 2つ目、気軽な投稿がコミュニケーショントラブルに発展しうる
- ・ 3つ目、知らない人との軽率な交流が犯罪被害につながる
- ・ 4つ目、簡単に情報を信じると犯罪に巻き込まれる

クリック

講師の説明例文(教材 P32)

投影スライド

PART 2で身につくリテラシー

安全確保

b-1 商売目的で自分の個人情報が使われることがあるから、スマホ・PCや情報を守る方法を知っておく

b-3 インターネットでの振る舞いが問題になることがあるから、どうしたらトラブルにならないかを考えながら使う

b-4 インターネットやPC・スマホを使うときに、体や心の健康を保つ方法を知る

他者・社会とのコラボ

c-1 デジタル技術を使って、他の人とコミュニケーションを取ることができる

c-5 インターネットで交流するとき、いろんな背景を持った人々がいることに気をつけ配慮する

c-6 自分や他の人の個人情報を理解し、大切に管理する

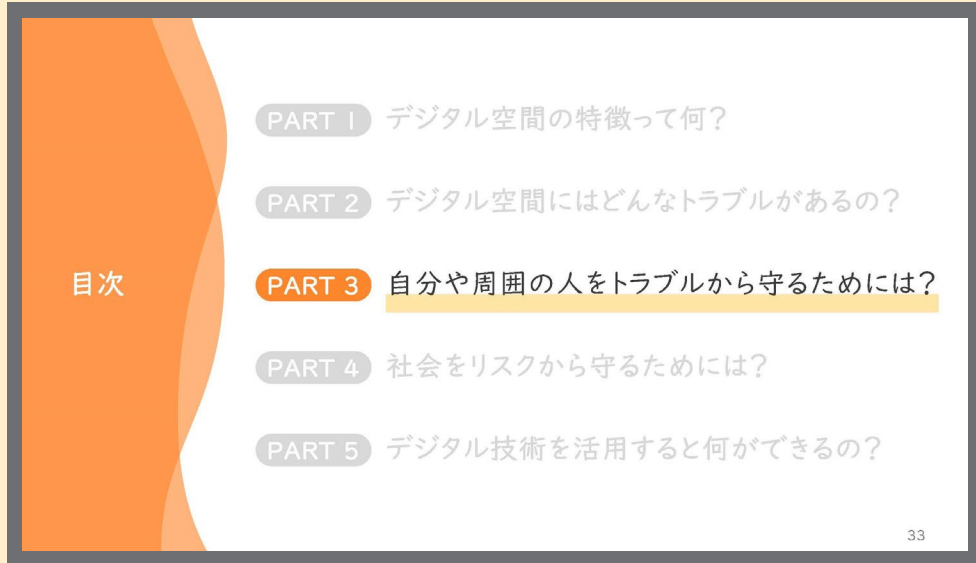
32

説明例文

クリック

講師の説明例文(教材 P33)

投影スライド



説明例文

ここまでインターネットには様々な危険が存在していることを紹介してきました。自分や周囲の人を守るためにはどうすればよいか、具体的な対処方法について、パート3で学んでいきましょう。

クリック

✓ 講義で意識したいポイント

- PART3では、情報を発信する際にトラブルに巻き込まれないための具体的な行動と、巻き込まれた時の対処法を伝えましょう。
- 必要に応じて相談できる窓口があることも知ってもらいましょう。

講師の説明例文(教材 P34)

投影スライド

PART
3

学べること:
空欄の答えを考えてみよう

自分や周囲の人をトラブルから守る具体的な対策を行おう

- 情報を発信する際は、トラブルに遭わないために対策をする
 - 個人情報の発信、知らない人との気軽な交流
 - 誹謗中傷、著作権/肖像権侵害
- トラブルに巻き込まれたら、・などに相談する

※答えは43ページ

34

説明例文

自分や周囲の人をトラブルから守る具体的な対策についてです。
空欄の答えを考えてみましょう。

クリック

講師の説明例文(教材 P35)

投影スライド

自分や周囲の人をトラブルから守るためには？

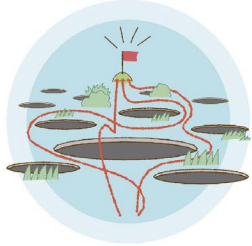
A 発信時の注意点

何に気を付けるといいだろう？



B トラブルへの対応

どう回避したり、対応したらいいのかな？



35

説明例文

自分や周囲の人を危険から守るために、
A情報の発信時の注意
Bトラブルへの対応
の2つに分けてみていきましょう。

クリック

✓ 講義で意識したいポイント

- ・ 発信時の注意では、誰もが被害者にも加害者にもなりうる事例を紹介しています。トラブルに巻き込まれないよう注意するだけでなく、自分もトラブルを起こしてしまう可能性があることを理解してもらうことが重要です。

講師の説明例文(教材 P36)

投影スライド

A | 発信時の注意点
インターネットでの商品購入は慎重に!

アンチエイジング美容液が
初月無料だったので
購入してみた

今だけのチャンス!

定期購入
初月
無料

解約ページが
どこにあるか分からない
解約したいけど
電話が繋がらない

商品の内容・説明をしっかりと読み、信頼できるサイト・販売者を選ぼう!
安すぎるなど、気になることがあれば買わないように!

36

説明例文

発信時の注意の1つめです。
インターネットで、初月無料と書かれた化粧品を購入してみました。

1度だけ購入したつもりが、毎月契約することになってしまい、解約しようとしたが、どこから解約したらいいのかわからず、また記載された電話番号もつながりません。

インターネットで商品を購入する際は、商品の内容や説明をしっかりと読み、信頼できるサイトや販売者であることを確認しましょう。
また安すぎるなど、気になることがあれば買わないようにすることも大切です。

クリック

講師の説明例文(教材 P37)

投影スライド

A | 発信時の注意点
ロマンス詐欺に注意!

インターネットでやり取りを始めた人へ恋愛感情を抱き、誘われてお金を投資した

一人暮らしで寂しかった
会話ができて毎日が楽しい

「投資して一緒に暮らしたい!」
「嬉しい!喜んで!」
「これまで一人暮らしで寂しかったの、会話ができて毎日が楽しい」
「あなたの将来のために投資をしない?」
「必ず儲かるよ!」
「お金を振り込むね」

お金を振り込んだ途端、音信不通になってしまった

「投資はどうなりました?」
「そろそろお金を返してくれる?」
「もうすぐ返すよ」
「いやがですね?」
「電話できますか?」
「連絡ください」

あなたの好意を利用して、お金をだまし取るロマンス詐欺!
会ったことがない人からの金銭の要求には要注意

参考: 警察庁「警察庁・SOS47特殊詐欺対策ページ SNS型ロマンス詐欺」<https://www.npa.go.jp/bureau/safetylife/sos47/case/sns-romance/romance/>

37

説明例文

Eさんは、インターネットでやり取りを始めた人と仲良くなり、恋愛感情を抱くようになりました。毎日メッセージをやり取りするなど、楽しく過ごしていると、その人から「二人の将来のために、投資をしないか」と誘われました。

将来のためと言われ、喜んだEさんはすぐにお金を振り込みましたが、振り込んだ途端、連絡が途絶え音信不通になってしまいました。

これは、好意を利用してお金をだまし取る、ロマンス詐欺の例です。会ったことがない人からの金銭の要求には注意が必要です。

クリック

講師の説明例文(教材 P38)

投影スライド

A | 発信時の注意点
インターネットで相手の人格を否定・攻撃することはやめよう!

SNS上で悪口・誹謗中傷を投稿すると
名誉毀損罪や侮辱罪などに問われたり、
高額な**慰謝料**を請求されたりする

匿名でも発信者を
特定できるよ!

法律事務所

**匿名の投稿や、拡散しただけでも
罪に問われるので注意しよう!**

38

説明例文

SNS上で悪口を投稿するとどうなるでしょうか？

特定の人物やグループに対して悪口をSNSで広めることは名誉毀損罪や侮辱罪などに問われたり、高額な慰謝料を請求されたりすることがあります。また匿名で投稿したとしても発信者を特定することができます。

匿名の投稿や拡散しただけでも罪に問われるので注意しましょう。

クリック

講師の説明例文(教材 P39)

投影スライド

A | 発信時の注意点
著作権・肖像権を侵害しないよう注意しよう!

著作権侵害

本の内容が面白かったので、コピーして友達に配ろう!



写真・イラスト・音楽などを権利者の許可を得ずにコピー・公開、引用表記なしで利用してはいけません

肖像権侵害

はなさんぽ @hanasanpoxxx
今日はみんなで大集合!

趣味の集まりで出かけたときの集合写真をSNSに投稿しよう!



写真に写っている人には肖像権がある。無断でSNSなどに公開してはいけません

39

説明例文

写真やイラスト、音楽などを公開するときには著作権や肖像権に注意する必要があります。

例えば、面白かった本の内容をコピーして友人に配ろうとしました。しかし、本の内容を権利者の許可を得ずにコピー・公開することは著作権侵害にあたります。

また、写真に写っている人には肖像権があるため、ネットやSNSで公開・投稿する場合、写真に写っている本人の許可が必要になります。許可なく撮影した写真などをSNSなどに投稿するのはやめましょう。

クリック

講師の説明例文(教材 P40)

投影スライド

B |トラブルへの対応
それでもトラブルに巻き込まれてしまったら…

冷静になる



- 慌てて行動はしない
- 誹謗中傷を受けても、感情的になってすぐ反応しない

状況を把握する



- トラブルの状況や証拠を整理
- 詐欺メール被害であれば文面を保存しよう

相談する/対応する



- 家族や窓口相談
- トラブル防止の対応をしよう
- 課金や請求トラブルならお金の支払いをストップ

再発防止策を取る



- フィルタリング/ウイルス対策を強化しよう

悩まずにすぐに家族・窓口相談しよう

40

説明例文

それでも、トラブルに巻き込まれてしまったときの対処法を、4つのステップで整理してみます。

まずは冷静になることが大切です。慌てて行動せず、感情的になって反応しないようにしましょう。

次に、トラブルの状況や証拠を整理します。適切な対処につなげるためには、第三者に客観的な説明をできることが大事です。トラブルの状況、被害を受けた証拠をなるべく正確に残しておきましょう。

状況を把握したら、家族や相談窓口へ、対応を相談しましょう。

また、原因を見直して再発防止の手を打つことも大切です。フィルタリング/ウイルス対策などトラブルを未然に防ぐための対策を取りましょう。

何か起きたら、一人で悩まずすぐに家族や窓口相談しましょう。

クリック

講師の説明例文(教材 P41)

投影スライド

B |トラブルへの対応

インターネット上の書き込みなどに関する相談・通報窓口・・・①

悩みや不安について話をしたい	まもろうよ ところ(厚生労働省)	→ Webサイト	
ネット上の書き込み・画像を削除したい	セーフライン (一般社団法人セーフアーインターネット協会)	→ Webサイト	
	誹謗中傷ホットライン (一般社団法人セーフアーインターネット協会)	→ Webサイト	
	法務省インターネット人権相談受付窓口 (法務省)	→ Webサイト	

41

説明例文

インターネット上での書き込みやトラブルに関する相談窓口です。あってしまったトラブルに応じて、専門の窓口にご相談しましょう。

クリック

✓ 講義で意識したいポイント

トラブルが起きたら一人で悩まずに、誰かに相談することが大切です。必要なときに思い出してもらえるように、悩みに応じた相談・通報窓口があることを紹介しましょう。

講師の説明例文(教材 P42)

投影スライド

B |トラブルへの対応

インターネット上の書き込みなどに関する相談・通報窓口・・・②

どうしたらよいか 分からない	違法・有害情報相談センター(総務省)	→ Webサイト	
身の危険を感じている/ おどされている・ 犯人の捜査、処罰を 求めたい	サイバー事案に関する相談窓口(警察庁)	→ Webサイト	
闇バイトに 巻き込まれた、 なりすまし詐欺に だまされた	警察相談専用電話 #9110 または近くの警察署		

42

説明例文

クリック

講師の説明例文(教材 P43)

投影スライド

PART
3

学んだこと

下線は空欄の答え

自分や周囲の人をトラブルから守る具体的な対策を行おう

- 情報を発信する際は、トラブルに遭わないために対策をする
 - 個人情報の発信、知らない人との気軽な交流
 - 誹謗中傷、著作権/肖像権侵害
- トラブルに巻き込まれたら、家族・窓口などに相談する

43

説明例文

PART3で学んだことを振り返り、空欄の正解を見てみましょう。

- ・ 1つ目、情報を発信する際は、トラブルに遭わないために対策をする
 - 個人情報の発信、知らない人との気軽な交流
 - 誹謗中傷、著作権/肖像権侵害
- ・ 2つ目、トラブルに巻き込まれたら、家族・窓口などに相談する

クリック

講師の説明例文(教材 P44)

投影スライド

PART 3で身につくリテラシー

安全確保

b-1 商売目的で自分の個人情報が使われることがあるから、**スマホ・PCや情報を守る方法を知っておく**

b-3 インターネットでの振る舞いが問題になることがあるから、**どうしたらトラブルにならないかを考えながら使う**

他者・社会とのコラボ

c-6 自分や他の人の**個人情報を理解し、大切に管理する**

作成編集

d-3 自分や他の人の作ったものを使うとき、**ルールや法律を守る大切さを理解する**

活用

e-2 デジタル技術で問題が起きたとき、その問題を見つけて**解決する方法を考える**

e-4 自分や周りの人のデジタル技術を使う力を見直し、**さらに良くする方法を考える**

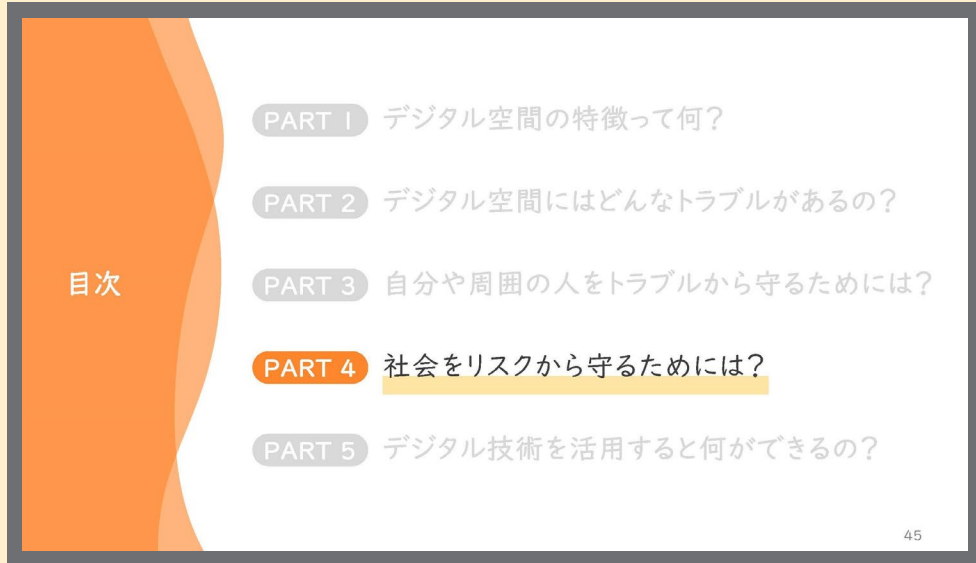
44

説明例文

クリック

講師の説明例文(教材 P45)

投影スライド



説明例文

インターネットの使い方次第では、社会にも悪影響を与えてしまうこともあります。

パート4では、社会をリスクから守るためにはどうすればよいかを学んでいきましょう。

クリック

✓ 講義で意識したいポイント

- PART4では、社会に大きな影響を与える、二セ・誤情報についての理解を深めてもらいましょう。
- 災害対応の妨害など、実際に社会に悪影響を与えた事例を紹介し、自分がだまされないだけでなく、一人ひとりが情報の信頼性を見極め、二セ・誤情報を拡散しないことが大切であることをしっかり伝えましょう。

講師の説明例文(教材 P46)

投影スライド

PART 4

学べること:
空欄の答えを考えてみよう

- ニセ・誤情報を拡散すると [redacted] に悪影響を及ぼす可能性がある
- [redacted] がわからないものや [redacted] を傷つける情報は拡散しない
- [redacted] する前にひと呼吸おくことが重要である

※答えは59ページ

46

説明例文

社会をリスクから守るためにはどうすればよいか、
空欄の答えを考えてみましょう。

クリック

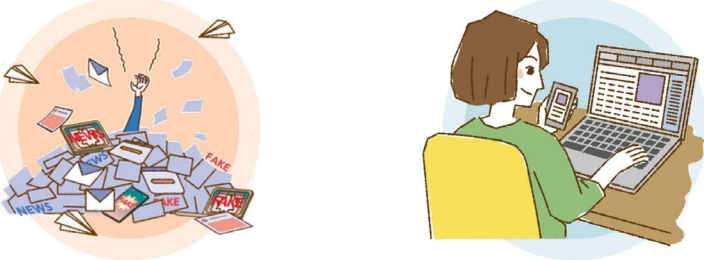
講師の説明例文(教材 P47)

投影スライド

一人ひとりのインターネットの使い方が大きな影響をもたらす

事実かどうか分からない情報が
増えてしまうと、
信頼性のある情報が埋もれてしまう

自分がだまされないだけでなく、
一人ひとりが拡散をしないことで
社会に悪影響を与えないようにしよう



47

説明例文

インターネットにはたくさんの情報があふれていますが、事実かどうか分からない情報が増えると、信頼性ある情報が埋もれてしまうなど、社会に大きな影響を与えます。

自分さえだまされなければ良いのではなく、情報を広める前に、情報の検証をしたり、拡散してもよい情報なのかを考えることで、社会への悪影響を与えないことも重要です。

一人ひとりのインターネットの使い方が大きな影響をもたらすことを忘れず、慎重に行動しましょう。

クリック

講師の説明例文(教材 P48)

投影スライド

ニセ・誤情報は、SNSの普及や生成AIの発展により、増えてきている



ニセ情報

意図的／意識的に作られた
ウソの情報



誤情報

かんちがい／誤解により拡散した
間違い情報

増加の背景
(生成AIの特徴)

- 簡単にニセ画像・映像・音声・ニュース記事などを作成できるため
- 裏付けのない、正しくない回答をする場合があるため

参考：総務省「上手にネットと付き合おう～安心・安全なインターネット利用ガイド～ 特集ページ インターネットとの向き合い方～ニセ・誤情報にだまされないために～第2版」
https://www.soumu.go.jp/use_the_internet_wisely/special/nisegojouhou/

48

説明例文

ニセ・誤情報とはどんな情報でしょうか？

ニセ情報とは、意図的・意識的に作られたウソの情報を指して、誤情報とは、勘違いや誤解により広まってしまった、間違い情報のことを指します。

ニセ・誤情報が増えている背景の一つに、生成AIの普及が挙げられます。生成AIにより、特殊な技術がなくても、もっともらしいニセ画像・映像・音声・ニュース記事などを作成できるようになったこと、生成AIが正しくない回答をする場合があることなどがニセ情報・誤情報の増加につながっているといわれています。

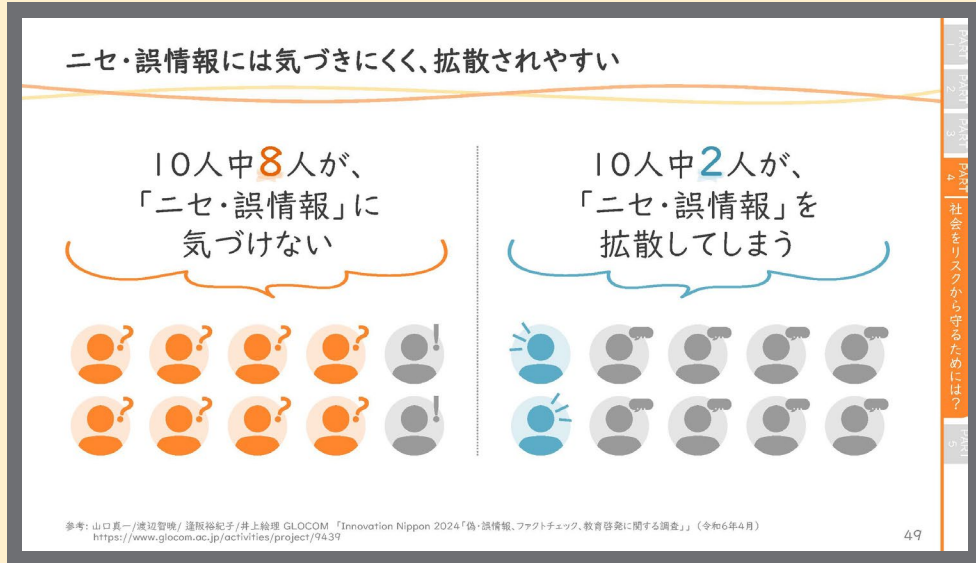
クリック

✓ 講義で意識したいポイント

- 例えば、生成AIが作った画像やニュース記事などの実例を紹介するなど、ニセ・誤情報を見極めることがいかに難しくなっているか、受講者に分かりやすく伝える工夫をしてみましょう。

講師の説明例文(教材 P49)

投影スライド



説明例文

自分はニセ・誤情報なんてそう簡単にだまされない、拡散しないと思っていませんか？

ニセ・誤情報に係る調査において、ニセ・誤情報に出会ったときに、「この情報は嘘だ」と正しく判断できた人は10人中2人、つまり、10人中8人が「ニセ・誤情報」に気づけないという結果が出ています。

また、ニセ情報・誤情報を見聞きした後に他人に伝えたかどうかを確認した調査では、10人中2人は拡散してしまったという結果も出ています。

クリック

講師の説明例文(教材 P50)

投影スライド

ニセ・誤情報はなぜ拡散されやすいのか

人に言いたくなる

希望・願望

正義感に訴えるもの

意外性

誰も知らない

ニセ・誤情報は、
誰かに教えたい要素や感情に訴える要素を持っているため、
共感・拡散されやすい

参考: 総務省「上手にネットと付き合い方～安心・安全なインターネット利用ガイド～ 特集ページ インターネットとの付き合い方～ニセ・誤情報にだまされないために～第2版」
https://www.soumu.go.jp/use_the_internet_wisely/special/nisegojouhou/

50

説明例文

ニセ・誤情報はなぜ拡散されやすいのでしょうか？

人には「誰かに言いたいな!」、「こうだったらいいな!」と自分が思い込んだものを信じてしまう傾向があります。この現象は、「認知バイアス」と呼ばれます。

ニセ・誤情報は、認知バイアスに働きかける、誰かに教えたい要素や感情に訴える要素を持っているため、共感・拡散されやすくなります。

クリック

講師の説明例文(教材 P51)

投影スライド



説明例文

誤った情報と気づかないまま、「大事な情報だ」と思い周囲の人に伝えてしまったり、身近な人から聞いた情報をそのまま信用してしまうことで、さらに周りの人に広めていってしまうこともあります。

二セ・誤情報が社会にどんな影響を与えたのか、例をみていきましょう。

クリック

講師の説明例文(教材 P52)

投影スライド

ニセ・誤情報を広めると社会に悪影響を与える可能性も・・・①

災害対応の妨害

ニセの被害報告や救助依頼により、役所や消防などの業務が混乱し、救える命が救えなくなる可能性もある



2024年の能登半島地震では、SNSに複数のニセの救助依頼が投稿され、それをもとに警察・消防が出動して混乱

参考: NHK 「「不謹慎で迷惑」能登半島地震で相次いだ偽救助要請 実態は？」〈令和6年3月12日〉 <https://www3.nhk.or.jp/news/html/20240312/k10014383261000.html>

52

説明例文

ひとつめは、「災害対応の妨害」の例です。

SNSには、閲覧回数を稼ぐ目的などで、災害時に、ニセの被害報告や救助依頼を発信する人がいます。善意であっても、そうしたニセ・誤情報を拡散してしまうと、役所や消防などの業務が圧迫され、本当に救助が必要な方への対応が遅れてしまう可能性があります。

実際に2024年の能登半島地震の際にも、本物の救助依頼に混ざって、ニセの救助依頼が投稿され、警察・消防が出動する事態が起きました。支援したい気持ちからであっても、安易に拡散したり、公的機関に通報することは避けましょう。

クリック

講師の説明例文(教材 P53)

投影スライド

ニセ・誤情報を広めると社会に悪影響を与える可能性も・・・②

選挙・民主主義への影響

特定の党や候補者に関するニセ・誤情報が拡散されることで、一人ひとりの判断に影響が出たり、不信感が広がる可能性がある

2020年の米国大統領選挙では、候補者への票が不正に捨てられたように見える写真がSNS上で拡散されたが、実際にはまったく別のニュースの写真と判明



参考: NHK 「「選挙フェイク」に気をつけて」 <https://www.nhk.or.jp/senkyo/database/local/okinawa/18490/enzetsu/post01.html>

53

説明例文

ふたつめは「選挙・民主主義への影響」です。

2020年の米国大統領選挙では、候補者の票が不正に捨てられたように見える写真がSNS上で拡散されました。しかし、実際には全く別のニュースの写真であったことが判明しました。

特定の党や候補者に関する間違った情報が拡散されることで、一人ひとりの判断に影響がでたり、選挙や特定の党、候補者などに対する不信感が広がる可能性があります。

クリック

講師の説明例文(教材 P54)

投影スライド

ニセ・誤情報を広めると社会に悪影響を与える可能性も・・・③

社会分断の助長

ニセ・誤情報が拡散されることで、特定の集団に対する差別や偏見をあおったり、政治や社会の分断を広げてしまう可能性がある

2024年にイギリスで、移民に関する差別的なニセ・誤情報が広がったことで、反移民の抗議活動や暴動が発生した



参考: NHK「イギリス 偽情報に端を発した暴動が全国に拡大 約380人逮捕」(令和6年8月6日) <https://www3.nhk.or.jp/news/html/20240806/k10014538511000.html>

54

説明例文

3つ目は「社会分断の助長」です。

ニセ・誤情報が拡散されてしまうと、特定の集団に対する差別や偏見をあおり、政治や社会の分断を広げてしまう可能性があります。

実際に、2024年にイギリスで移民に関する差別的なニセ・誤情報が拡散され、反移民の抗議活動や暴動が発生しました。

クリック

✓ 講義で意識したいポイント

紹介した事例以外にも、見聞きした事例などを問いかけることで、ニセ・誤情報による影響が身近であることを実感できるように、受講者が考える時間をつくってみましょう。

講師の説明例文(教材 P55)

投影スライド

ニセ・誤情報にだまされないためには



まずは確認してみよう

- 情報源はあるか（根拠となる情報があるか）
- その分野の専門家か（専門知識や資格を持った人の発言か）
- 他ではどう言われているか（反論や誤りを指摘されていないか）
- その画像は本物か（無関係なもの、過去のものではないか）



拡散しない

- 本当かウソかわからないもの
- 誰かを傷つけるもの

参考：総務省「上手にネットと付き合おう！～安心・安全なインターネット利用ガイド～ 特設ページ インターネットとの向き合い方～ニセ・誤情報にだまされないために～第2版」
https://www.soumu.go.jp/use_the_internet_wisely/special/nisegojouhou/

55

説明例文

ニセ・誤情報にだまされないためには、まずは確認してみることが第一歩です。

情報の検証のために、根拠となる情報があるのか、その分野の専門家の意見なのか、使われている画像は本物か、などを確認しましょう。

そして、安易に情報を拡散しないようにしましょう。本当かウソかわからないもの、誰かを傷つける情報は拡散してはいけません。

クリック

講師の説明例文(教材 P56)

投影スライド

ニセ・誤情報ではないかと疑い、チェックをしてみよう

リンク先を読もう



投稿している人は
どんな人？

- 所属などを調べてみる

引用している記事は
信頼できる？

- 引用先をクリックして
読んでみる
- 引用先は信頼できる
新聞・ニュースサイトか
確認

画像検索をしよう



投稿されている
この画像は正しい？

- 画像検索する
- スマホやタブレットなら
長押し、PCなら
右クリックすると、
「画像を検索」できる
- 検索した画像が
使われている記事や
出所を調べられる

🔍 画像検索 チェック

56

説明例文

情報にリンク先などがあれば、投稿している人の所属などを確認してみましょう。また、ある投稿が記事を引用している場合、記事の見出しだけでなく、実際にリンク先をクリックして、記事を読んでみたり、引用元が信頼できるかを確認しましょう。

画像付きの投稿の場合、その画像が正しい画像なのか確認する方法もあります。スマホやタブレットなら画像を長押し、PCなら右クリックをすると、「画像検索」して、検索した画像が使われている記事や出所元がどこかを調べることができます。

クリック

✓ 講義で意識したいポイント

自分のスマホなどで画像検索を実際に試してみたり、ニュース記事の引用元リンクなどをクリックしてみるなど、日常生活において、ニセ・誤情報を見極めるための行動がとれるように一緒に実践してみましょう。

講師の説明例文(教材 P57)

投影スライド

参考) 信頼できるウェブサイトは、どう判別できるの？

ウェブサイトのURLを確認してみよう!

- ウェブサイトには必ずURLが存在する
- URLにはウェブサイトに関する情報が含まれている



URLの冒頭 (https://の部分)

- 「https」から始まる場合
 - セキュリティ対応をしているウェブサイト
- 「http」(sなし) から始まる場合
 - セキュリティ対応が不十分であるため、信頼性が低いウェブサイトの可能性

URLの末尾 (「.go.jp」の部分、ドメインと呼ぶ)

- 「.go.jp」は日本政府機関や独立行政法人、特殊法人が登録する信頼性の高いドメイン

例: 総務省HP「上手にネットと付き合おう!～安心・安全なインターネット利用ガイド～」

57

説明例文

参考として、信頼できるサイトの判別方法についても紹介します。

サイトのURLには、ウェブサイトに関する情報が含まれています。「https://」で始まるURLは、セキュリティが強化された通信を行っていることを示します。反対に「http://」で始まる場合は、セキュリティが保証されていない通信が行われる可能性があるため、特に個人情報を入力するサイトでは注意が必要です。

URLの末尾には、そのサイトがどのような組織によって運営されているかを示す情報が含まれています。例えば、日本国の政府機関や独立行政法人、特殊法人などは「.go.jp」が使われており、これらのドメインを持つサイトは信頼できる可能性が高いです。

クリック

講師の説明例文(教材 P58)

投影スライド

ニセ・誤情報についてもっと知りたい方へ

ニセ・誤情報の教材でもっと深く学ぼう！



インターネットとの向き合い方
~ニセ・誤情報にだまされない
ために~第2版 (総務省)

→ Webサイト



58

説明例文

総務省の教材「インターネットとの向き合い方～ニセ・誤情報にだまされないために～第2版」では、インターネットのニセ・誤情報について詳しく説明しています。

もっと深く学びたい方は、本教材の内容もふまえて、詳しく学習してみましょう。

クリック

講師の説明例文(教材 P59)

投影スライド

PART
4 学んだこと

下線は空欄の答え

- ニセ・誤情報を拡散すると社会に悪影響を及ぼす可能性がある
- 真偽がわからないものや誰かを傷つける情報は拡散しない
- 拡散する前にひと呼吸おくことが重要である

59

説明例文

PART4で学んだことを振り返り、空欄の正解を見てみましょう。

- ・ 1つ目、ニセ・誤情報を拡散すると社会に悪影響を及ぼす可能性がある
- ・ 2つ目、真偽がわからないものや誰かを傷つける情報は拡散しない
- ・ 3つ目、拡散する前にひと呼吸おくことが重要である

クリック

講師の説明例文(教材 P60)

投影スライド

PART 4で身につくリテラシー

取得管理	安全確保
a-2 インターネットでは自分が好きな情報や同じ意見に触れやすいことを理解し、<u>本当に信頼できる情報かを確認する</u>	b-2 インターネットにある<u>違法・有害情報やニセ・誤情報に気をつけて、どう対処するかを学ぶ</u>
b-3 インターネットでの振る舞いが問題になることがあるから、<u>どうしたらトラブルにならないかを考えながら使う</u>	b-4 インターネットやスマホ・PCを使うときに、<u>体や心の健康を保つ方法を知る</u>
他者・社会とのコラボ	
c-2 デジタル技術を活用して、<u>他の人と情報やコンテンツを共有できる</u>	c-5 インターネットで交流するとき、<u>いろんな背景を持った人々がいることに気をつけ配慮する</u>

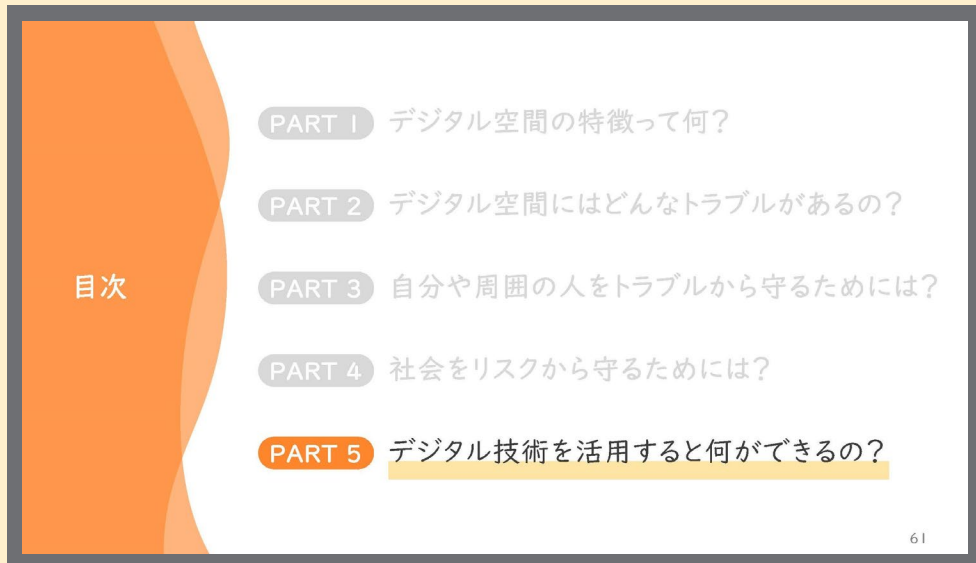
60

説明例文

クリック

講師の説明例文(教材 P61)

投影スライド



説明例文

デジタル技術の発展によって、私たちの生活は大きく変化しており、私たちの生活を便利に、そして豊かにしてくれる可能性が広がっています。デジタル技術を活用すると何ができるのか、パート5で学んでいきましょう。

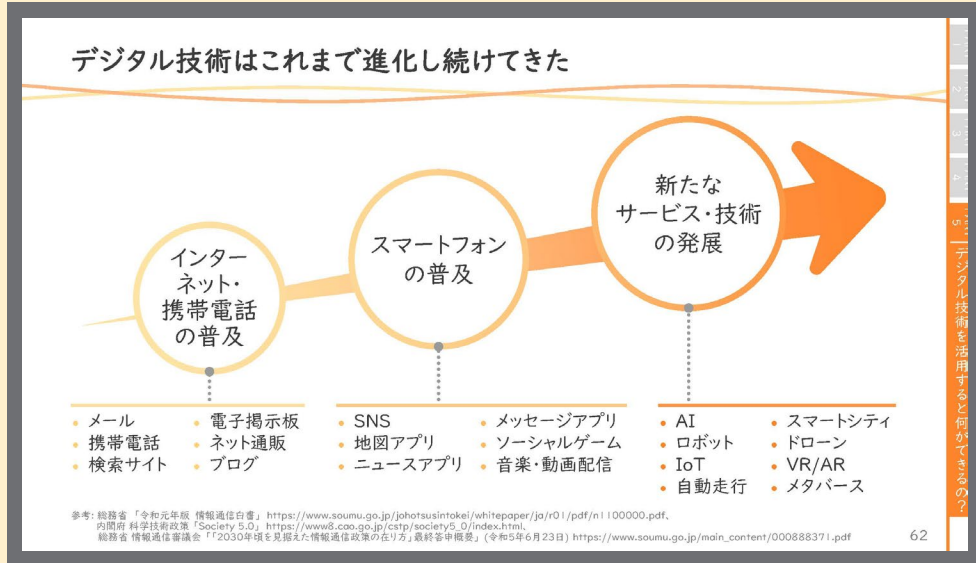
クリック

✓ 講義で意識したいポイント

- デジタル技術は私たちの生活に不可欠であり、安全に利用すれば、便利な面も多く存在します。トラブルに巻きこまれないよう、利用を避けてしまうのではなく、受講者が前向きに活用できるよう、PART5では明るい側面に焦点を当てることを意識して伝えましょう。

講師の説明例文(教材 P62)

投影スライド



説明例文

デジタル技術はこれまで進化し続けてきました。

まず、インターネットや携帯電話の普及によって、メールや情報の検索、インターネット通販ができるようになりました。

次に、スマートフォンの普及が大きな変化をもたらしました。SNSや地図アプリ、音楽配信、ソーシャルゲーム、ニュースアプリなどが一般的になりました。

さらに、スマートホーム、フードデリバリーのように生活を便利にするデジタルサービスや、VR/AR、AIのように今後の社会を大きく変える可能性がある新たな技術が登場し、これらは更なる進化を続けています。

クリック

講師の説明例文(教材 P63)

投影スライド

今後もデジタル技術は発展し、私たちの暮らしを豊かにする

AI技術 複雑な問題を解決したり、新しいアイデアを考えてくれる 	メタバース空間※の広がり 距離が離れた相手とも、現実と変わらない感覚で交流できる  ※インターネット上の空間で交流したり活動できる新しい仮想世界	AR/VR※ 仮想空間に没入した気分を味わえる  ※現実の世界に、仮想世界・空間、デジタルコンテンツを重ねて見れるデジタル端末
スマートシティ※の実現 都市全体のデータを活用して、環境に優しく安全に暮らせる  ※デジタル技術で暮らしをより便利で安全にした街	移動手段の発達 自動運転で、誰でもどこでも移動しやすくなる 	IoT・ロボットとの共生 家電を遠くから操作したり、ロボットが生活を助けてくれる 

参考: 内閣府 科学技術政策「Society 5.0」https://www8.cao.go.jp/cstp/society5_0/index.html,
総務省 情報通信審議会「『2030年頃を見据えた情報通信政策の在り方』最終答申概要」(令和5年6月23日)https://www.soumu.go.jp/main_content/000888371.pdf

63

説明例文

例えば、AI技術により、AIが複雑な問題を解決したり、新しいアイデアを考えてくれます。

新しい仮想空間であるメタバース空間では、距離が離れた相手とも、現実と変わらない感覚で交流できるようになり、AR(拡張現実) VR(仮想現実)などの技術も仮想空間の浸透を後押ししています。スマートシティと呼ばれる、都市全体のデータを活用し、人々の生活をより便利に安全にする街づくりや、移動手段においても、自動運転により、誰でもどこでも移動しやすい社会の実現が期待されています。またIoT、ロボットとの共生では、人手を必要とする作業にもロボットが対応できるようになり、家事や介護、仕事など、日常の生活を手助けしてくれます。

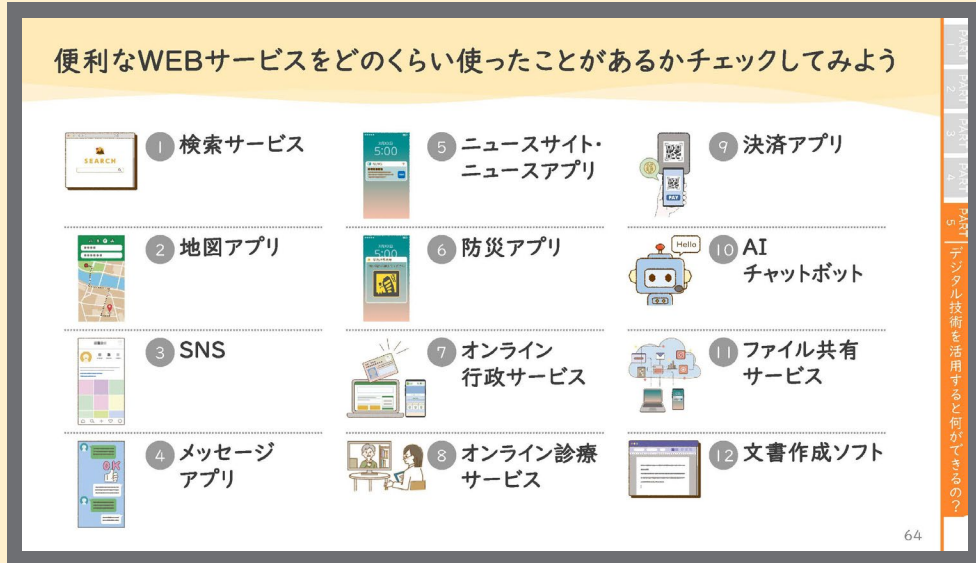
クリック

✓ 講義で意識したいポイント

デジタル技術が発展し続けていること、暮らしを便利にする可能性がひろがっていることを知ってもらいましょう。

講師の説明例文(教材 P64)

投影スライド



説明例文

こうしたデジタル技術を使い、便利なWEBサービスはたくさん存在します。みなさんはどれくらい使ったことがあるでしょうか？

クリック

✓ 講義で意識したいポイント

- 使ったことがあるWEBサービスや、どのように使ったかなど講師や受講者間で共有する時間をとるなど、使用したことのないサービスも含めて、これらのサービスが身近な存在であることを実感してもらいましょう。
- WEBサービスの利用経験がない方にも、サービス内容や利用方法を分かりやすく説明することを意識しましょう。

講師の説明例文(教材 P65)

投影スライド

情報を検索・閲覧できるサービス

	サービス利用を通じて身に付くリテラシー
① 検索サービス 調べたいことに関連するキーワードや画像などで検索し、情報を閲覧できる	a-1 インターネット 検索の仕組みを知って、必要な情報を探すための方法 を理解する
② 地図アプリ 行きたい場所がどこにあるのか、交通手段や行き方を調べることができる	c-3 デジタルツールやサービスを使って、 社会の問題を解決したり、役立つことをする
⑩ AIチャットボット 質問を入力すると、AIチャットボットが回答する	d-4 コンピュータをうまく動かすために、 必要な指示を出す

65

説明例文

情報の検索サービスの例を見ていきましょう。

検索サービスによって、調べたいことに関連するキーワードで検索をすると情報が得られ、自主的な学習に役立てられます。

地図アプリでは、行きたい場所をすぐに見つけることができます。

AIチャットボットを利用すると、質問に対してAIが学習した内容を組み合わせて回答してくれます。

クリック

講師の説明例文(教材 P66)

投影スライド

情報を発信・交換できるサービス



③ SNS

- 自分の考えや作ったものを投稿したり、投稿されている情報を閲覧できる
- 繋がっている人とメッセージのやり取りができる



④ メッセージアプリ

- 特定の相手と情報を交換できる

サービス利用を通じて身に付くリテラシー

a-2

インターネットでは自分が好きな情報や同じ意見に触れやすいことを理解し、**本当に信頼できる情報かを確認する**

c-1

デジタル技術を使って、**他の人とコミュニケーションを取ることができる**

c-2

デジタル技術を活用して、**他の人と情報やコンテンツを共有できる**

66

説明例文

情報を発信・交換できるサービスについてみていきましょう。

SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)は自分の考えや作成したコンテンツを投稿したり、他の人の投稿を閲覧することができます。

さらに、メッセージをやり取りすることもできます。
メッセージをやり取りするサービスは、SNSのほかに、メッセージアプリなども存在します。メッセージアプリでは、SNSと異なり、特定の相手との情報交換に利用されます。

クリック

講師の説明例文(教材 P67)

投影スライド

直接出向かずに生活に必要なサービスを受けられるサービス



7 オンライン行政サービス

- 役所に出向かなくても、行政サービスの検索、オンラインでの申請や届出、自分の情報の確認などができる



8 オンライン診療サービス

- 家にいながら、医師の診察を受けることができる。薬の配達を頼める場合もある

サービス利用を通じて身に付くリテラシー

c-3

デジタルツールやサービスを使って、社会の問題を解決したり、役立つことをする

e-1

デジタルツールを、自分がやりたいことに合わせて調整して使う

67

説明例文

どこにいても生活に必要なサービスを受けられるWEBサービスを紹介しましょう。

「オンライン行政サービス」では、役所などに出向かなくても行政サービスの検索やオンライン申請・届出ができます。

また、「オンライン診療サービス」では、家にいながら医師の診察を受けることができ、薬の配達を頼める場合もあります。

クリック

講師の説明例文(教材 P68)

投影スライド

ニュースを迅速に手に入れることができる



⑤ ニュースサイト・ニュースアプリ

- ニュースをウェブやアプリ上で読むことができる。アプリの場合、速報の通知が画面上に出てきて、すぐに情報を知ることができる

サービス利用を通じて身に付くリテラシー

c-3 デジタルツールやサービスを使って、社会の問題を解決したり、役立つことをする



⑥ 防災アプリ

- 避難情報や、避難所の位置などを確認することができる
- 豪雨の予報など、災害が発生しそうな際に通知してくれるアプリもある

e-3 デジタル技術を使って、自分や社会の問題を解決する方法を学ぶ

68

説明例文

ニュースをすぐに手に入れられる、ニュースサイトやアプリは利用したことがあるでしょうか？ウェブ上やアプリ上でニュースが読めるだけでなく、新しいニュースが出たら、すぐに分かるように通知を受け取ることもできます。

防災アプリでは、避難情報や、避難所の位置を確認できたり、豪雨の予報など、災害が発生しそうな際に通知を受け取れるものもあります。

クリック

講師の説明例文(教材 P69)

投影スライド

お財布・現金を使わずに支払いや送金ができるサービス



⑨ 決済アプリ

- アプリと銀行口座やクレジットカードをつなげて、QRコードやお店のタッチ決済端末を経由して、スマホだけで支払いができる
- 個人間の送金ができるアプリもある

サービス利用を通じて身に付くりテラシー

e-I デジタルツールを、自分がやりたいことに合わせて調整して使う

69

説明例文

お財布や現金を使わず、支払いや送金ができるサービスもあります。

アプリと銀行口座やクレジットカードをつなげて、スマホだけで支払いができたり、銀行に行かなくてもオンラインでお金を送金できるアプリもあります。

クリック

講師の説明例文(教材 P70)

投影スライド

遠くの人と共同でデジタルコンテンツの作成作業できるサービス



11 ファイル共有サービス

- 文書や写真などのファイルをオンライン上の保存場所へ保存できる
- 保存したファイルのURLを共有することで、相手と一緒にファイルの編集ができるサービスもある



12 文書作成ソフト

- キーボードで作成した文書を保存できる
- 文書の間に画像を入れて、分かりやすくしたり、作成文書を印刷して、配ることができる

サービス利用を通じて身に付くリテラシー

a-3 見つけたデータや情報を保存し、**整理して管理する**

d-1 デジタル技術を使って、絵や動画、音楽などを作って、**自分を表現する**

d-2 いろんな情報を組み合わせて、**新しい知識やコンテンツを作る**

c-4 デジタルツールを使って、**他の人とインターネット上で一緒に作業を進める**

70

説明例文

遠くの人と共同で作業ができるサービスは利用したことがありますか？
ファイル共有サービスは、文章や写真などのファイルをオンライン上に保存することができます。また保存したファイルのURLを共有することで、ほかの人と同時にファイルを閲覧したり、編集したりできるサービスもあります。

文章作成ソフトでは、キーボードで入力した文書のデータを、電子的に保存できます。文書の中に写真やイラストを入れたり、文書を印刷して配布することも可能です。

クリック

講師の説明例文(教材 P71)

投影スライド

コラム

地球に優しくしながら、便利なデジタル技術を使おう！

電力や環境に配慮するために

- 使っていないアプリは閉じよう！
- ネットワーク検索は電池を消費するので、接続先が見つからない時は、Wi-Fiをオフにしよう
- 省電力モードや低電力モードをオンにしよう
- 充電をしすぎないようにしよう！20%ぐらいで充電をはじめて、80%ぐらいで充電を終えるのがおすすめ

使わないアプリの閉じ方

- 画面の一番下に指を置いて上にすべらせ、画面の真ん中で止める
 - ホームボタンのあるiPhoneの場合は、ホームボタンを2回押す
 - 画面の一番下に■マークやIIIマークのあるAndroidは、該当マークを押す
- アプリ画面の一覧が表示されたら、左右に指をすべらせて、閉じたいアプリの画面を探す
- 閉じたいアプリの画面の上に指を置き、下から画面の一番上にすべらせる

71

説明例文

次に、「地球に優しくデジタル技術を使うためのコラム」を紹介します。

例えば、電力や環境に配慮したスマホやタブレットの使い方として、使用していないアプリを閉じることで、無駄な電力消費を減らすことができます。

また、ネットワーク検索は消費電力が大きいので、接続先が見つからない場合、Wi-Fiをオフにして電力を節約することができます。使用しない時には省電力モードや低電力モードをオンにしてみましょう。

また、バッテリーの寿命を長持ちさせるために、充電が100%になる前に、80%ぐらいで充電を終わらせるのが良いと言われています。本コラムでは、使わないアプリの閉じ方などを紹介しているので、ぜひ参考にしてみましょう。

クリック

投影スライド

デジタル活用推進事業

具体的な使い方を知りたい人は動画で勉強してみよう

具体的な操作手順を動画で学べる



デジタル活用推進事業

[HOME](#)
[講習会](#)
[標準教材](#)
[動画](#)
[事業説明](#)
[地方公共団体の窓口へ](#)

デジタル活用支援推進事業とは？

高齢者をはじめ、デジタル機器の活用が難しい方へのデジタル活用支援。パソコンの操作法など、高齢者にとってのデジタル活用支援。パソコンの操作法など、高齢者にとってのデジタル活用支援。パソコンの操作法など、高齢者にとってのデジタル活用支援。

デジタル活用支援推進事業の連絡先はこちら

デジタル活用支援推進事業標準教材・動画（総務省）

→ Webサイト



72

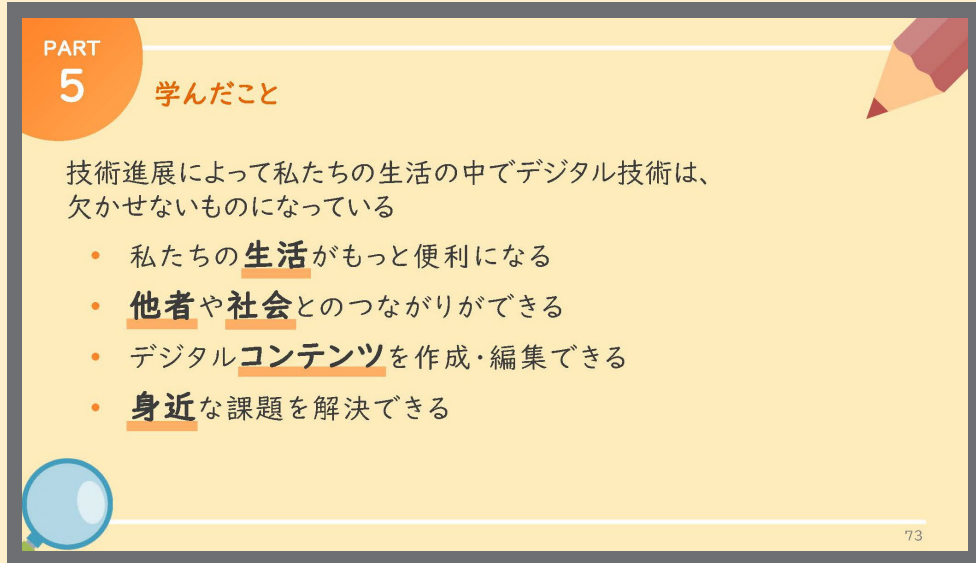
說明例文

活用してみましょう。

クリック

講師の説明例文(教材 P73)

投影スライド



PART
5 学んだこと

技術進展によって私たちの生活の中でデジタル技術は、
欠かせないものになっている

- 私たちの**生活**がもっと便利になる
- **他者**や**社会**とのつながりができる
- デジタル**コンテンツ**を作成・編集できる
- **身近**な課題を解決できる

73

説明例文

PART5で学んだことを振り返りましょう。

- ・ 1つ目、私たちの生活がもっと便利になる
- ・ 2つ目、他者や社会とのつながりができる
- ・ 3つ目、デジタルコンテンツを作成・編集できる
- ・ 4つ目、身近な課題を解決できる

クリック

講師の説明例文(教材 P74)

投影スライド

PART 5で身につくリテラシー

取得管理

- a-1 インターネット検索の仕組みを知って、必要な情報を探すための方法を理解する
- a-2 インターネットでは自分が好きな情報や同じ意見に触れやすいことを理解し、本当に信頼できる情報を確認する
- a-3 見つけたデータや情報を保存し、整理して管理する

安全確保

- b-5 デジタル技術が環境にどう影響するかを考え、環境を守るためにできることを理解する

他者・社会とのコラボ

- c-1 デジタル技術を使って、他の人とコミュニケーションを取ることができる
- c-2 デジタル技術を活用して、他の人と情報やコンテンツを共有できる
- c-3 デジタルツールやサービスを使って、社会の問題を解決したり、役立つことをする
- c-4 デジタルツールを使って、他の人とインターネット上で一緒に作業を進める

作成編集

- d-1 デジタル技術を使って、絵や動画、音楽などを作って、自分を表現する
- d-2 いろんな情報を組み合わせて、新しい知識やコンテンツを作る
- d-4 コンピュータをうまく動かすために、必要な指示を出す

活用

- e-1 デジタルツールを、自分がやりたいことに合わせて調整して使う
- e-3 デジタル技術を使って、自分や社会の問題を解決する方法を学ぶ

デジタル技術は使うことでスキルが高まる!さまざまなWEBサービスを利用しよう!

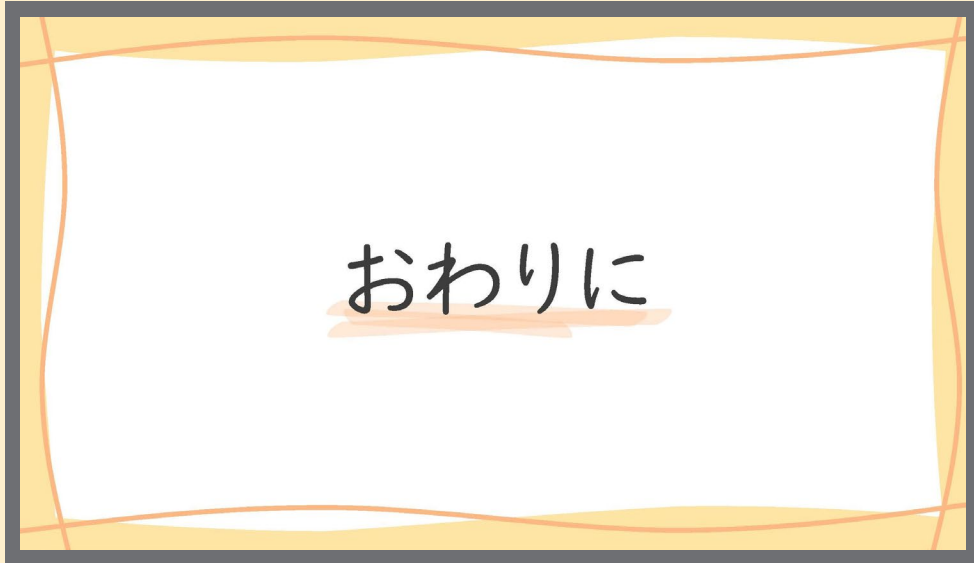
74

説明例文

クリック

講師の説明例文(教材 P75)

投影スライド



説明例文

おわりに

クリック

講師の説明例文(教材 P76)

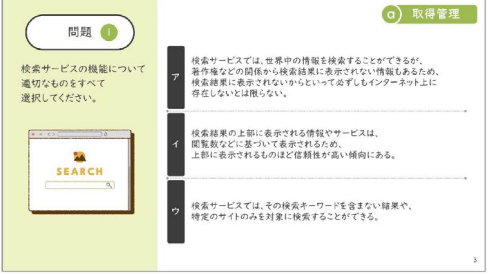
投影スライド

チェックテストで自分のICTリテラシーを確認しよう

本書で学習した内容を
クイズ形式で復習しよう

苦手なところや興味のある
テーマは継続して学ぼう!

→ Webサイト



76

説明例文

学習した内容について、クイズ形式で振り返ることができる、「チェックテスト」を用意しています。
「チェックテスト」の問題演習を通じて、苦手な部分や興味のあるテーマを理解し、学び直すことができます。

QRコードで簡単にアクセスできるので、ぜひ活用してみてください。

ICTリテラシーは継続的な学びが重要です。ぜひ繰り返し学習し、これからのデジタル社会において身につけるべき能力をしっかりと身につけ、高めていきましょう。

クリック

講師の説明例文(教材 P77)

投影スライド

本教材で身につけられる能力	
5の能力領域	22の能力
a 取得管理 データや情報を 検索・管理する力	a-1 インターネット検索の仕組みを知って、必要な情報を探すための方法を理解する a-2 インターネットでは自分が好きな情報や同じ意見に触れやすいことを理解し、本当に信頼できる情報かを確認する a-3 見つけたデータや情報を保存し、整理して管理する
b 安全確保 自分の身を自分で 守る力	b-1 商売目的で自分の個人情報が使われることがあるから、スマホ・PCや情報を守る方法を知っておく b-2 インターネットにある違法・有害情報やニセ・誤情報に気をつけて、どう対処するかを学ぶ b-3 インターネットでの振る舞いが問題になることがあるから、どうしたらトラブルにならないかを考えながら使う b-4 インターネットやスマホ・PCを使うときに、体や心の健康を保つ方法を知る b-5 デジタル技術が環境にどう影響するかを考え、環境を守るためにできることを理解する
c 他者・ 社会との コラボ	c-1 デジタル技術を使って、他の人とコミュニケーションを取ることができる c-2 デジタル技術を活用して、他の人と情報やコンテンツを共有できる c-3 デジタルツールやサービスを使って、社会の問題を解決したり、役立つことをする c-4 デジタルツールを使って、他の人とインターネット上で一緒に作業を進める c-5 インターネットで交流するとき、いろんな背景を持った人々がいることに気をつけ配慮する c-6 自分や他の人の個人情報を理解し、大切に管理する
d 作成編集 デジタルコンテンツを 作る力	d-1 デジタル技術を使って、絵や動画、音楽などを作って、自分を表現する d-2 いろんな情報を組み合わせて、新しい知識やコンテンツを作る d-3 自分や他の人の作ったものを使うとき、ルールや法律を守る大切さを理解する d-4 コンピュータをうまく動かすために、必要な指示を出す
e 活用 デジタル技術で 困りごとを 解決する力	e-1 デジタルツールを、自分がやりたいことに合わせて調整して使う e-2 デジタル技術で問題が起きたとき、その問題を見つけて解決する方法を考える e-3 デジタル技術を使って、自分や社会の問題を解決する方法を学ぶ e-4 自分や周りの人のデジタル技術を使う力を見直し、さらに良くする方法を考える

説明例文

本教材で身につけられる能力の一覧をまとめています。
本教材により、5つの能力領域および22の能力を網羅的に
身につけることができます。
より詳しく学びたい方は、リテラシーの全体像について解説した
「リテラシー全体像の解説書」をぜひご覧ください。

クリック

講師の説明例文(教材 P78)

投影スライド

参考) もっと知りたい方はこちら!

シニア世代が
遭遇しやすいトラブルに
ついて知りたいなら...

スマートフォン・タブレットなどインターネットを
安全に利用するために
トラブル対策ブック(総務省)

→ Webサイト



ニセ・誤情報について
知りたいなら...

インターネットとの向き合い方
～ニセ・誤情報にだまされないために～第2版
(総務省)

→ Webサイト



スマホの使い方に
ついてもっと
知りたいなら...

デジタル活用支援推進事業
標準教材・動画(総務省)

→ Webサイト



78

説明例文

本教材の他にも、総務省ではICTリテラシーに係る、さまざまな情報を提供しています。もっと知りたい方は、こちらのリンクからアクセスしてみてください。

クリック

つくろう！守ろう！安心できる情報社会



発行者

総務省 情報流通行政局 情報流通振興課